

☆主任司祭からのクリスマスメッセージ☆

このホームページをご覧になっている皆様へ

主の光が今日、暗闇に苦しむこの世界に輝き出しました。世界は今、新型コロナウイルスの感染拡大に苦しんでいます。このウィルスの感染によってこの世界の闇が炙り出されているのです。人間科学の知恵の行き過ぎた傲慢と、人間の心を失わせる経済優先の行き過ぎた強欲です。

私たちの父である神はそのひとり子を極貧の夫婦マリアとヨセフに赤子として洞穴の中で身をお委ねになりました。それは私たち人間が小さな存在であることを身をもって思い起こさせ、そこから出発させるためでした。

また、私たちのこの命、知恵、財産ももともと神から与えられたものであり、神のみ旨に副って生かす時、互いに大事にし合い、愛し合う時、最も輝くということをおぼえさせるためでした。

幼子イエスは愛によって世界を変えるために来られました。私たち自身がイエスの愛によって変えられ、また、世界を愛によって変えてゆく者になれますよう、幼子イエスに願ひましょう。



“Puer natus est pro nobis” (私たちのために一人の幼子がお生まれになった)

2020年12月25日 降誕祭
カトリック足立教会
主任司祭 野口重光